

農村計画学特論 (2単位)

担当者氏名 中村貴彦

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

日本の国土開発と農政の展開を振り返り、農業・農村がもつ多面的機能を理解した上で、土地利用計画や農村環境整備計画について理解し、それにより今後の農村の振興や、生き残り策としての撤退の農村計画論について学ぶ。本講義では、日本の農村の活性化策を考える材料を提供するとともに、公務員試験出題範囲程度の知識の修得を目標とする。なお、この科目は必要に応じてバイリンガル（日本語と英語）で実施する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

農振法	多面的機能	換地	生活環境整備
水環境整備	ビオトープ整備	バイオマス	農村の活性化

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	国土開発と農政の展開 (第1～3週)	明治以降の都市と農村の開発政策について講義する。	◎教科書、参考書および配布資料の該当箇所を熟読し、予習しておく ◎毎回復習し、それをもとにしてレポート作成・提出に備える。
2	農村の多面的機能(第4週)	農村のもつ自然生態系保全機能や国土保全機能など多面的機能とその評価法について講義する	
3	土地利用計画(第5～7週)	農村振興地域の整備, 集落地域整備, 換地手法について講義する	
4	農村環境の整備(第8～10週)	農村の生活環境や水環境の整備, ビオトープの整備, バイオマス生産環境の整備など, 農村環境整備について講義する	
5	農村の振興(第11～15週)	農村の活性化策について考えるとともに, 撤退の農村計画論について考える	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

改訂 農村計画学／農業農村工学会 (編) ／農業農村工学会 (2003年)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

撤退の農村計画／林直樹・齋藤晋 (編) ／学芸出版社 (2010年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート 70%、ディスカッション 30%で評価する

◆オフィスアワー

月曜日 16:30～18:00, 金曜日 16:30～18:00

◆その他受講上の注意事項

講義内容に関して質問がある場合ややむを得ず欠席する場合は、メールで ntaka@nodai.ac.jp まで事前に連絡すること